

発達障害医療支援体制検討特別委員会

(平成 30 年度)

発達障害医療支援体制検討特別委員会活動報告

広島県地域保健対策協議会 発達障害医療支援体制検討特別委員会

委員長 松田 文雄

I. はじめに

平成 26 年より「発達障害児（者）医療支援体制にかかる検討会」を設置し、発達障害児（者）支援における医療支援体制の整備について検討を重ねてきた。

主に診療医の養成を焦点に、診療に必要な知識や技術の習得方法の検討を行うとともに、医療機関の連携方策についての課題を検討し、具体的取り組みへつながるよう努めている。

平成 29 年は発達障害の診療実態を把握し、課題を明確化するため県内の小児科医、精神科医に対する「発達障害の診療実態アンケート調査」を実施し、次の項目が把握された。

- ・ 6 割を超える医師で初診の待機があり、平成 27 年度調査よりも増加している。
- ・ 診療医の偏在があり、地域差がある。
- ・ 診療を行うことのできる、「小児科」「精神科・神経科」の医師数は増加してきているが、医療機関数は減少傾向にある。
- ・ 医師が発達障害の診療に必要な情報を精査するための検査等を担う医療スタッフの心理技術者、または作業療法士、言語聴覚士等が診療を実施している機関のうちの半数で配置されている。

喫緊の課題である発達障害児の早期把握、早期支援および初診待機期間の短縮などに取り組むため、医療機関と、早期の気づきから特性に応じた支援を行う支援機関が連携をした地域体制の構築が必要である。

このため、平成 30 年度の取り組みとして、医療機関と支援機関をつなぐ情報連携ツールの作成を行い、初診待機期間の短縮に努めること、県内 7 圏域の医療ネットワークの構築について、評価指標を策定し、ネットワークが構築されている姿について共通認識を持つことに焦点を当て、取り組んだ。

II. 活動内容

発達障害医療支援体制検討特別委員会を 9 月と 3 月の 2 回開催した。小児期における発達障害の診療体制について意見交換、協議を行い、医療機関と母子保健や子育て支援機関等との連携の円滑化をターゲットに情報連携ツールを作成し、できる限り円滑な診療に必要な情報とは何か、どのような様式であれば、それが可能となるか、といった議論を通じ、情報連携ツールの作成に取り組んだ。

また、発達障害医療ネットワーク構築を進めるために課題を明確化するとともに、対応方針を協議することを目的に評価指標の策定を行った。

1 第 1 回検討会議

(1) 日時

平成 30 年 9 月 26 日（水）19：00～20：30

(2) 場所

広島県医師会 会議室

(3) 議題

① 発達障害の医療連携体制の構築に係る現状及び今後の方向性について

・ 鹿児島県、福山市、三原市の早期把握、医療機関との連携方策について情報提供

② 発達障害の医療支援体制の構築とその評価のための指標について

(4) 協議概要

① 医療連携体制の構築の現状と課題、方向性について

・ 鹿児島県、福山市、三原市等の取り組みからもわかるが、行政の関与が明確であると保護者もわかりやすく、その後の支援もうまくいくのではないかと。

・ 広島県での取り組みの方向性として、市町に母子保健と子育て支援が包括的に支援を

行うネウボラ拠点を作る動きがある。ライフステージに応じた支援を行う仕組みづくりを目指しており、発達障害児への支援についても母子保健担当課との連携をしていく必要がある。

- ・情報連携で活用される書式の重要性や必要性は理解できる。情報収集に時間がかかることで円滑な診療ができていない事実がある。しかし医師が忙しい中、診断書作成に時間がかからない工夫が必要である。
- ・専門医の業務の中で、診療、診断もあるが、行政への提出書類、診断書の作成業務の負担がある。発達障害医療のすそ野を広げる方法として地域医療での対応も考えるものではないか。

②発達障害医療支援体制の構築及びその評価のための指標について

- ・医療機関間の連携数を把握する目的は、地域医療と拠点としての専門医療との連携を確認することであり、地域ネットワークの構築状況の把握ともなる。
- ・小児科から精神科への連携数の把握により、子どもから大人へ、ライフステージに応じた支援連携の医療的なケア場面での現状の把握を目的としている。
- ・評価の一つにある、医師をバックアップする体制について、心理技術者の紹介システム等、かかりつけ医が診療するにあたり必要な資源を具体的に示すのもよいのではないか。
- ・保護者や当事者からの意見について、可能な範囲、抽出的でもよいので利用者からの評価として組み入れてみてはどうか。

2 第2回検討会議

(1) 日時

平成31年3月13日(水) 19:00~20:30

(2) 場所

広島県医師会 会議室

(3) 議題

- ①医療機関と支援機関との情報連携ツールについて
- ②発達障害医療機関ネットワーク構築評価指標について

(4) 協議概要

①医療機関と支援機関との情報連携ツールについて

- ・情報提供票、支援連携票の必要性は理解できる。できる限り問題や主訴が整理されていると診療が円滑である。また仕組みのない地域での利用を促す必要がある。
- ・情報を整理する中で支援機関と保護者とが共通認識をもてること、また医療機関での評価や見立てに応じた対応が可能となることで、子どもへの対応が一貫したものとなるという支援機関の意見は理解できる。ただ、その診断名だけ、もしくは検査結果だけが取り上げられるようなことになると心配である。
- ・かかりつけ医と拠点でみている専門医との連携も非常に重要なルートであり、そのルートを活性化していくためのツールが必要である。
- ・現在検討している情報連携ツールは未就学児が対象だが、就学後の対応等も大きな課題で取り組む必要がある。

②発達障害医療機関ネットワーク構築評価指標の策定について

- ・状態像の把握のための定性的評価項目と数値的な実態像の把握のための定量的評価項目を組み合わせた指標とし、各拠点での評価を行ってもらう。次年度以降、その評価から取り組みについて検証を行うこととする。

Ⅲ. ま と め

平成30年度は、前年度実施した発達障害の診療実態アンケート調査の結果から、初診待機状況の改善に向けた取り組み、および地域のかかりつけ医と専門医が連携した発達障害の医療ネットワークが円滑に機能し発達障害児(者)がライフステージを通じて必要な医療を受けられるための具体的な連携の構図の仕組みを検討するにあたり、現状把握のための評価指標を策定する検討を行った。

情報連携ツールは対象となる子どもの日常生活上の様子について、医師が必要と思う項目を、支援者が整理しやすい様式としたもので、各市町、医療機関へ情報提供をし、また県のホームページでも掲載している。

またネットワーク構築に関する評価指標については、定性的な指標と定量的な指標を組み合わせる評価できるようなものとした。ネットワーク構築の目指す姿を明確にとらえるためには、当事者視点が入るべきであるという意見があり、当事者視点を加えた調査については次年度に検討する必要があると思われる。

次年度は、上記内容の引き続きの課題に加え、発達障害診療実態アンケートの実施や、発達障害児の診療におけるかかりつけ医と専門医の役割分担と連携方策（連携時の情報提供内容など）の協議、検討等を行い、具体的に活用できるものを作成する。

「情報提供書」の手引き（発達障害地域支援連携）

～支援機関※から専門医療機関への情報提供～

1 目的

発達障害に関する診察を希望しても待機期間が長いことが課題となっています。その短縮のため、家庭や保育園など所属の様子、乳幼児期の成育歴情報などを支援機関から医療機関へ提供しやすくするための「情報提供書」活用し、医師の診察が効果的かつ効率的になることを目指します。それにより診断を円滑に進めることにつながることを期待します。

また、地域の支援機関を通じての予約により、情報提供を行う機関と連携しやすくなり、医療機関と支援機関とが連携しやすくなることで、地域支援体制の充実を図る仕組みづくりができることを期待します。

2 対象

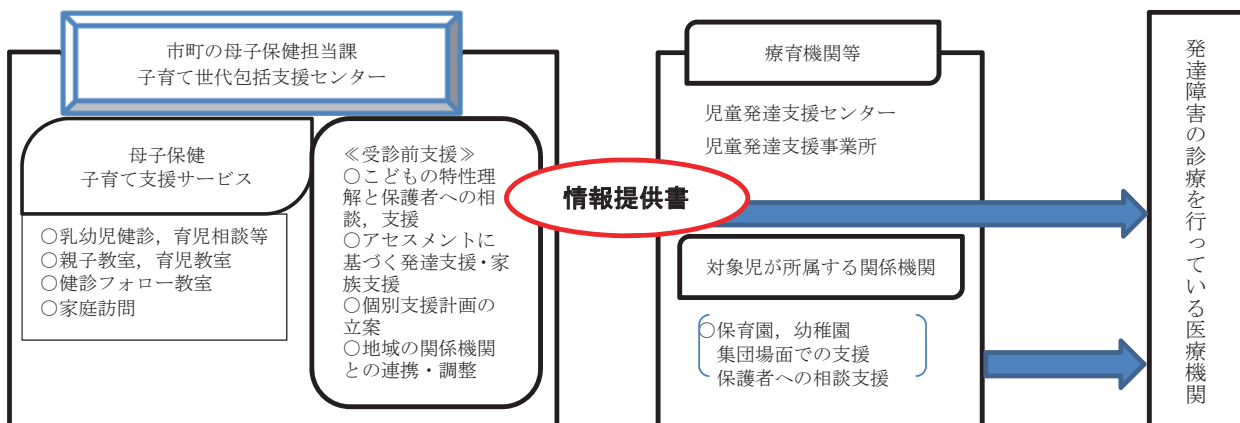
- ・支援機関から医療機関への受診勧奨を行った児でかつ保護者の同意が得られている方

3 情報提供書の作成方法（作成のポイント）

- 医療機関の受診について、保護者とよく話し合ってください。保護者の受診に対する思いを確認し、保護者の同意をとってください。
- 母子保健担当課から紹介する場合で対象児童が保育園などの所属がある場合は、連携し、作成してください。
- 保育園等所属から紹介する場合は、必要に応じて母子保健担当課と連携を図り、作成してください。
- 添付書類には、乳幼児健診結果から診療の参考となる問診票や検査表について添付してください。
- 情報提供書の提供方法は各支援機関で検討し、適切な方法としてください。（診察時に保護者ないし支援者が手交する、事前郵送するなど）

※ 「支援機関」とは、市町母子保健担当課・保育園・幼稚園・療育機関等を想定しています。

《情報提供・支援連携イメージ図》



情報提供書[支援機関 ⇒ 医療機関]

紹介機関	市町村名	市・町	連絡先	電話番号	—
	機関名			担当者名	

ふりがな		生年月日	H・	年	月	日
児童名			歳	ヶ月	(男・女)	
住所		保護者の受診希望理由, 受診勧奨理由を記載	属	未入園・保育園・幼稚園・認定こども園		
受診・紹介のきっかけ	<input type="checkbox"/> 保護者の希望 <input type="checkbox"/> 紹介機関から受診勧奨 <input type="checkbox"/> 紹介機関以外から受診勧奨					
医療機関紹介の目的	<input type="checkbox"/> 診察 <input type="checkbox"/> 検査 <input type="checkbox"/> 診断書 <input type="checkbox"/> その他 ()					
子どもの気になる行動 ※以下に詳細を記載	<input type="checkbox"/> 言葉の問題(遅れ等) <input type="checkbox"/> 指示への反応が薄く, 没頭傾向もしくは不注意の状態がある <input type="checkbox"/> 落ち着きがない <input type="checkbox"/> パニックやかんしゃくが頻回にある <input type="checkbox"/> こだわりが強い <input type="checkbox"/> 偏食等過敏さが強い <input type="checkbox"/> 気持ちの切り替えが難しい <input type="checkbox"/> 不安が強く, 場なれが悪い <input type="checkbox"/> 一人遊びが多く友達と遊べない <input type="checkbox"/> 手先の不器用がある					
家庭での様子	きょうだい等の家族との関係など家庭での様子を記載					
生活状況	生活面	食事の様子: 箸, スプーン, フォーク 食量: 多い・普通・少ない・偏りあり 昼寝の様子: 問題なし・寝つきが悪い・眠れない 排泄: 自立・おむつ使用・夜だけおむつ使用 衣服の着脱: 一人で行える・大人が手伝う その他 ()				
	活動・遊び・運動	集団場面での様子 () 粗大運動(遊具で遊ぶ時やボール投げ等:) 指先や手の動き(ハサミ, 折り紙等:) その他 ()				
	対人関係 コミュニケーション 言語(発語, 理解)	一方的・内容がかみ合わない・場にそぐわない発言が多い・視線があわない 言葉の理解: 年齢相応・年齢より低い理解可能・理解しているか不明 その他 ()				
	学習面	年齢相応の読み, 書き力の有無, 学力の凸凹, 興味のない課題への態度等				
健康状態						
保護者の思い・相談したいこと	<input type="checkbox"/> 福祉サービスの利用等診断書 <input type="checkbox"/> 診断 <input type="checkbox"/> 学校等所属との連携や説明 その他保護者が期待していること ()					
支援者が相談したいこと	支援者として相談したいこと					
健診等情報	<input type="checkbox"/> 1歳6か月児健診要観察の有無 [有 (内容)]・無 <input type="checkbox"/> 3歳児健診要観察の有無 [有 (内容)]・無 <input type="checkbox"/> その他の健診要観察の有無 [有 (内容)]・無 <input type="checkbox"/> 療育・発達相談 (結果) <input type="checkbox"/> 療育等の利用状況 ※添付書類: <input type="checkbox"/> 新版K式 <input type="checkbox"/> 遠城寺 <input type="checkbox"/> その他 ()					

【保護者同意欄】 情報提供書を受診する医療機関へ提出することに同意します。

平成 年 月 日

保護者氏名(自署)

情 報 提 供 書 [支援機関 ⇒ 医療機関]

紹介機関	市町村名	市・町	連絡先	電話番号	— —
	機関名			担当者名	

(ふりがな)	()	生年月日	H・ 年 月 日 歳 ヶ月 (男・女)
住所		所属	未入園・保育園・幼稚園・認定こども園
受診・紹介のきっかけ	<input type="checkbox"/> 保護者の希望 <input type="checkbox"/> 紹介機関から受診勧奨 <input type="checkbox"/> 紹介機関以外から受診勧奨		
医療機関紹介の目的	<input type="checkbox"/> 診察 <input type="checkbox"/> 検査 <input type="checkbox"/> 診断書 <input type="checkbox"/> その他 ()		
子どもの気になる行動 ※以下に詳細を記載	<input type="checkbox"/> 言葉の問題(遅れ等) <input type="checkbox"/> 指示への反応が薄く、没頭傾向もしくは不注意の状態がある <input type="checkbox"/> 落ち着きがない <input type="checkbox"/> パニックやかんしゃくが頻回にある <input type="checkbox"/> こだわりが強い <input type="checkbox"/> 偏食等過敏さが強い <input type="checkbox"/> 気持ちの切り替えが難しい <input type="checkbox"/> 不安が強く、場なれが悪い <input type="checkbox"/> 一人遊びが多く友達と遊べない <input type="checkbox"/> 手先の不器用がある		
家庭での様子			
生活の状況	生活面	食事の様子：箸、スプーン、フォーク 食量：多い・普通・少ない・偏りあり 昼寝の様子：問題なし・寝つきが悪い・眠れない 排泄：自立・おむつ使用・夜だけおむつ使用 衣服の着脱：一人でできる・大人が手伝う その他 ()	
	活動・遊び・運動	集団場面での様子 () 粗大運動(遊具で遊ぶ時やボール投げ等：) 指先や手の動き(ハサミ、折り紙等：) その他 ()	
	対人関係 コミュニケーション 言語(発語、理解)	一方的・内容がかみ合わない・場にそぐわない発言が多い・視線があわない 言葉の理解：年齢相応・年齢より低い理解可能・理解しているか不明 その他 ()	
	学習面		
健康状態			
保護者の思い・相談したいこと	<input type="checkbox"/> 福祉サービスの利用等診断書 <input type="checkbox"/> 診断 <input type="checkbox"/> 学校等所属との連携や説明 その他保護者が期待していること ()		
支援者が相談したいこと			
健診等情報	<input type="checkbox"/> 1歳6か月児健診要観察の有無 [有 (内容)・無] <input type="checkbox"/> 3歳児健診要観察の有無 [有 (内容)・無] <input type="checkbox"/> その他の健診要観察の有無 [有 (内容)・無] <input type="checkbox"/> 療育・発達相談 (結果) <input type="checkbox"/> 療育等の利用状況 ※添付書類： <input type="checkbox"/> 新版K式 <input type="checkbox"/> 遠城寺 <input type="checkbox"/> その他 ()		

【保護者同意欄】 情報提供書を受診する医療機関へ提出することに同意します。

平成 年 月 日

保護者氏名(自署) _____

「支援連携票」の手引き(発達障害地域支援連携)

～専門医療機関から支援機関※への情報提供～

1 目的

発達障害の診断を希望し、医療機関を受診する人が増加しています。発達障害は診断だけではなく、その人自身の特性を理解し、状況に合わせた支援を受ける必要があります。

そこで、診断や助言内容等を専門医療機関と支援機関(市町母子保健、保育園等)とが共有できる連携ツールとしての「支援連携票」を作成しました。支援連携票を作成することで、御家族と支援機関が同じ方向で本人を支援できることを期待します。

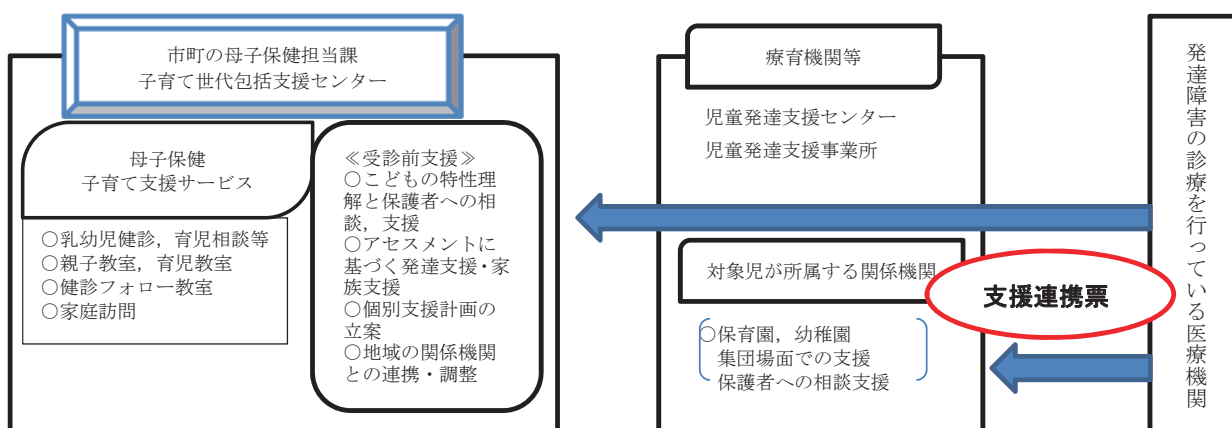
2 対象

支援機関から情報提供を受けた児に対して作成してください。

3 支援連携票の作成方法

- サービス利用のための診断書や意見書を作成された場合はできる範囲での回答をお願いします。
- 本人もしくは保護者から別紙2同意書をお願いいたします。
- 支援連携票の返信は郵送、保護者へ手交などの方法をお願いします。
- ※ 「支援機関」とは、市町母子保健担当課・保育園・幼稚園・療育機関等を想定しています。

《情報提供・支援連携イメージ図》



支 援 連 携 票 [医療機関 ⇒ 支援機関] (案)

ふりがな		生年月日	H・ 年 月 日
児童名			歳 ヶ月 (男・女)
住所		所属	未入園・保育園・幼稚園・認定こども園

児の様子	【受診日】 年 月 日
	受診時に特記する事項があれば記載
医学的所見	
子どもへの接し方	児の特性により工夫すべき対応方法 (視覚化など), 環境整備など
今後の方針	受診の必要性 (次回の予定) <input type="checkbox"/> 1ヶ月ごと <input type="checkbox"/> () ヶ月毎 <input type="checkbox"/> 節目 (1年後, 就学前) <input type="checkbox"/> 不要 【特記事項】 保護者への説明内容等今後の治療方針等
	保護者への助言内容 <input type="checkbox"/> 子どもへの接し方 <input type="checkbox"/> 福祉サービスの利用勧奨 児童発達支援, 放課後等デイサービス, 手帳 (療育, 精神保健福祉) の申請 <input type="checkbox"/> その他

年 月 日

医療機関名
医 師 名

支 援 連 携 票 [医療機関 ⇒ 支援機関]

(ふりがな) 児童名	()	生年月日	H・ 年 月 日
			歳 か月 (男・女)
住所		所属	未入園・保育園・幼稚園・認定こども園

児の様子	【受診日】 年 月 日	
医学的所見		
子どもへの接し方		
今後の方針	受診の必要性 (次回の予定)	<input type="checkbox"/> 1ヶ月ごと <input type="checkbox"/> () ヶ月毎 <input type="checkbox"/> 節目 (1年後, 就学前) <input type="checkbox"/> 不要 【特記事項】
	保護者への助言内容	<input type="checkbox"/> 子どもへの接し方 <input type="checkbox"/> 福祉サービスの利用勧奨 児童発達支援, 放課後等デイサービス, 手帳 (療育, 精神保健福祉) の申請 <input type="checkbox"/> その他

年 月 日

医療機関名

医 師 名

同意書

_____様の支援を目的として、当医療機関が市町等情報提供のあった機関へ情報を伝えることに同意します。

年 月 日

医療機関の長 様

保護者氏名（自署）

児童氏名

発達障害に係る医療ネットワーク構築の評価指標

患者アンケート(例) 診察待機期間 診察を希望したきっかけなど)	基本情報(人口・出生数・出生数など)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">定量的評価</th> </tr> <tr> <td>地域に所在する小児科、精神科を標榜する医療機関数</td> <td>・発達障害を診療できる医療機関数</td> </tr> <tr> <td>・発達障害を診療できる医師数</td> <td>・診断に必要なアセスメント実施機関数(心理検査等)</td> </tr> <tr> <td>・コメディカル数(言語聴覚士、理学療法士、作業療法士、臨床心理士、精神保健福祉士等)</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">医療</th> </tr> <tr> <td>ストライクチャーター(基盤)</td> <td>・地域に所在する小児科、精神科を標榜する医療機関数</td> </tr> <tr> <td>プロセス指標(医療体制整備に関する事業)</td> <td>・発達障害を診療できる医師数</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・診断に必要なアセスメント実施機関数(心理検査等)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・コメディカル数(言語聴覚士、理学療法士、作業療法士、臨床心理士、精神保健福祉士等)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・拠点医療機関における陪席研修参加者数</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・発達障害に関する研修会の実施回数</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・発達障害に関する研修会の参加回数</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・かかりつけ医から拠点医療機関専門医への紹介、連携数</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・拠点医療機関専門医からかかりつけ医への連携数</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・小児科から精神科への紹介、連携数</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・拠点医療機関での初診待機期間</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・拠点医療機関以外の初診待機患者数</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・拠点医療機関以外の初診待機期間</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・拠点医療機関以外の初診待機患者数</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・市町(母子保健担当課)からの情報提供書(紹介状等)受理数、連携件数</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・保育園、幼稚園からの情報提供書(紹介状等)受理数、連携件数</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・支援機関(市町、学校、療育機関等)とのケース検討会の実施、参加回数</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・療育機関からの情報提供書(紹介状等)受理数、連携件数</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・小、中学校等からの情報提供書(紹介状等)受理数、連携件数</td> </tr> </table>	定量的評価		地域に所在する小児科、精神科を標榜する医療機関数	・発達障害を診療できる医療機関数	・発達障害を診療できる医師数	・診断に必要なアセスメント実施機関数(心理検査等)	・コメディカル数(言語聴覚士、理学療法士、作業療法士、臨床心理士、精神保健福祉士等)		医療		ストライクチャーター(基盤)	・地域に所在する小児科、精神科を標榜する医療機関数	プロセス指標(医療体制整備に関する事業)	・発達障害を診療できる医師数		・診断に必要なアセスメント実施機関数(心理検査等)		・コメディカル数(言語聴覚士、理学療法士、作業療法士、臨床心理士、精神保健福祉士等)		・拠点医療機関における陪席研修参加者数		・発達障害に関する研修会の実施回数		・発達障害に関する研修会の参加回数		・かかりつけ医から拠点医療機関専門医への紹介、連携数		・拠点医療機関専門医からかかりつけ医への連携数		・小児科から精神科への紹介、連携数		・拠点医療機関での初診待機期間		・拠点医療機関以外の初診待機患者数		・拠点医療機関以外の初診待機期間		・拠点医療機関以外の初診待機患者数		・市町(母子保健担当課)からの情報提供書(紹介状等)受理数、連携件数		・保育園、幼稚園からの情報提供書(紹介状等)受理数、連携件数		・支援機関(市町、学校、療育機関等)とのケース検討会の実施、参加回数		・療育機関からの情報提供書(紹介状等)受理数、連携件数		・小、中学校等からの情報提供書(紹介状等)受理数、連携件数	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">定性的評価【評価の視点】</th> </tr> <tr> <td>役割分担</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点医療機関専門医とかかりつけ医の役割分担がすすんでいるか。 ・診療や治療を行う医師をバックアップする体制があるか。 ・(診断や治療に対する相談体制) ・診療に必要な心理検査や発達検査等アセスメントを実施できる体制やアセスメントを依頼できる機関があるか。 ・拠点医療機関専門医からかかりつけ医への連携がすすんでいるか。 ・かかりつけ医から拠点医療機関専門医への連携がすすんでいるか。 ・発達障害に関する小児科から精神科への紹介、連携がすすんでいるか。 ・緊急時に対応できる医療機関との連携体制があるか。 </td> </tr> <tr> <td>医療</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ■初診待機期間の短縮 <ul style="list-style-type: none"> ・初診待機期間が短縮しているか。 ・拠点医療機関への患者の集中が解消しているか。 ・初診待機中に必要な支援または、支援機関へ繋いでいるか。 ■関係機関との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・診療に必要な情報を得ることができているか。 (母子保健、保育園、学校、療育機関等から) ・相談窓口や療育機関の情報を把握しているか。 ・子育て支援機関や療育機関、学校等との連携が進んでいるか。 ・診断後の本人や保護者の不安や必要な支援について関係機関へ繋げることができているか。 </td> </tr> </table>	定性的評価【評価の視点】		役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点医療機関専門医とかかりつけ医の役割分担がすすんでいるか。 ・診療や治療を行う医師をバックアップする体制があるか。 ・(診断や治療に対する相談体制) ・診療に必要な心理検査や発達検査等アセスメントを実施できる体制やアセスメントを依頼できる機関があるか。 ・拠点医療機関専門医からかかりつけ医への連携がすすんでいるか。 ・かかりつけ医から拠点医療機関専門医への連携がすすんでいるか。 ・発達障害に関する小児科から精神科への紹介、連携がすすんでいるか。 ・緊急時に対応できる医療機関との連携体制があるか。 	医療	<ul style="list-style-type: none"> ■初診待機期間の短縮 <ul style="list-style-type: none"> ・初診待機期間が短縮しているか。 ・拠点医療機関への患者の集中が解消しているか。 ・初診待機中に必要な支援または、支援機関へ繋いでいるか。 ■関係機関との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・診療に必要な情報を得ることができているか。 (母子保健、保育園、学校、療育機関等から) ・相談窓口や療育機関の情報を把握しているか。 ・子育て支援機関や療育機関、学校等との連携が進んでいるか。 ・診断後の本人や保護者の不安や必要な支援について関係機関へ繋げることができているか。 	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">評価</th> </tr> <tr> <td>5段階評価</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 5 よくできている 4 できている 3 まあまあできている 2 あまりできていない 1 できていない </td> </tr> <tr> <td>【評価方法】</td> <td>・拠点医療機関と県、市町との協議により評価する。</td> </tr> </table>	評価		5段階評価	<ul style="list-style-type: none"> 5 よくできている 4 できている 3 まあまあできている 2 あまりできていない 1 できていない 	【評価方法】	・拠点医療機関と県、市町との協議により評価する。
定量的評価																																																																
地域に所在する小児科、精神科を標榜する医療機関数	・発達障害を診療できる医療機関数																																																															
・発達障害を診療できる医師数	・診断に必要なアセスメント実施機関数(心理検査等)																																																															
・コメディカル数(言語聴覚士、理学療法士、作業療法士、臨床心理士、精神保健福祉士等)																																																																
医療																																																																
ストライクチャーター(基盤)	・地域に所在する小児科、精神科を標榜する医療機関数																																																															
プロセス指標(医療体制整備に関する事業)	・発達障害を診療できる医師数																																																															
	・診断に必要なアセスメント実施機関数(心理検査等)																																																															
	・コメディカル数(言語聴覚士、理学療法士、作業療法士、臨床心理士、精神保健福祉士等)																																																															
	・拠点医療機関における陪席研修参加者数																																																															
	・発達障害に関する研修会の実施回数																																																															
	・発達障害に関する研修会の参加回数																																																															
	・かかりつけ医から拠点医療機関専門医への紹介、連携数																																																															
	・拠点医療機関専門医からかかりつけ医への連携数																																																															
	・小児科から精神科への紹介、連携数																																																															
	・拠点医療機関での初診待機期間																																																															
	・拠点医療機関以外の初診待機患者数																																																															
	・拠点医療機関以外の初診待機期間																																																															
	・拠点医療機関以外の初診待機患者数																																																															
	・市町(母子保健担当課)からの情報提供書(紹介状等)受理数、連携件数																																																															
	・保育園、幼稚園からの情報提供書(紹介状等)受理数、連携件数																																																															
	・支援機関(市町、学校、療育機関等)とのケース検討会の実施、参加回数																																																															
	・療育機関からの情報提供書(紹介状等)受理数、連携件数																																																															
	・小、中学校等からの情報提供書(紹介状等)受理数、連携件数																																																															
定性的評価【評価の視点】																																																																
役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点医療機関専門医とかかりつけ医の役割分担がすすんでいるか。 ・診療や治療を行う医師をバックアップする体制があるか。 ・(診断や治療に対する相談体制) ・診療に必要な心理検査や発達検査等アセスメントを実施できる体制やアセスメントを依頼できる機関があるか。 ・拠点医療機関専門医からかかりつけ医への連携がすすんでいるか。 ・かかりつけ医から拠点医療機関専門医への連携がすすんでいるか。 ・発達障害に関する小児科から精神科への紹介、連携がすすんでいるか。 ・緊急時に対応できる医療機関との連携体制があるか。 																																																															
医療	<ul style="list-style-type: none"> ■初診待機期間の短縮 <ul style="list-style-type: none"> ・初診待機期間が短縮しているか。 ・拠点医療機関への患者の集中が解消しているか。 ・初診待機中に必要な支援または、支援機関へ繋いでいるか。 ■関係機関との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・診療に必要な情報を得ることができているか。 (母子保健、保育園、学校、療育機関等から) ・相談窓口や療育機関の情報を把握しているか。 ・子育て支援機関や療育機関、学校等との連携が進んでいるか。 ・診断後の本人や保護者の不安や必要な支援について関係機関へ繋げることができているか。 																																																															
評価																																																																
5段階評価	<ul style="list-style-type: none"> 5 よくできている 4 できている 3 まあまあできている 2 あまりできていない 1 できていない 																																																															
【評価方法】	・拠点医療機関と県、市町との協議により評価する。																																																															

【参考】発達障害支援に関する視点(案)

早期把握(保健、子育て支援)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に所在する子育て支援センター数 ・保健師数 ・1歳6か月児童健康診査受診率、健診結果 ・3歳児健康診査受診率、健診結果 ・各種健診フォロー教室の実施回数、参加者数 ・発達相談等への相談者数 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域で必要な療育をうけることができる体制にあるか。 ・必要時、早期から療育を受けられる体制にあるか。 ・保育園や小学校等子どもの所属する機関との連携が図られているか。 ・医療機関との連携が取れているか。
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園数 ・子育て支援センター ・保育士、幼稚園職員の加配 ・巡回相談の活用 ・保育所等訪問支援事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援センター数 ・児童発達支援事業所数 ・放課後等デイサービス事業所数 ・保育所等訪問支援事業 ・療育等支援事業実施機関数 ・児童発達支援事業利用人数 ・保育所等訪問支援利用人数 ・放課後等デイサービス利用人数 ・生活支援サービス利用人数 ・幼稚園、学校数 ・特別支援学級設置数 ・個別支援計画作成数
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレントトレーニング実施数 ・ペアレントトレーニング参加者数 ・ペアレントトレーニングの登録者数 ・家族会の設置数 	<ul style="list-style-type: none"> ・就労移行支援利用者数 ・就労継続支援事業所利用者数 ・地域活動支援センター利用者数 ・障害者就業、生活支援センター利用者数 ・相談窓口の設置数
教育	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級設置数 ・個別支援計画作成数 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの発達に関する相談窓口があるか。 ・必要時、医療や療育機関への紹介をしているか。 ・児童の特性にあった教育支援ができる体制があるか。
就労	<ul style="list-style-type: none"> ・就労移行支援利用者数 ・就労継続支援事業所利用者数 ・地域活動支援センター利用者数 ・障害者就業、生活支援センター利用者数 ・相談窓口の設置数 	<ul style="list-style-type: none"> ・本人や雇用者の就労に関する相談窓口があるか。 ・就労の定着に向けた関係機関との連携が図られているか。

広島県地域保健対策協議会 発達障害医療支援体制検討特別委員会

委員長	松田 文雄	松田病院
委員	芦田 雅嗣	広島市健康福祉局保健部医療政策課
	井上 和義	広島市発達障害者支援センター
	伊予田邦昭	福山市こども発達支援センター
	宇根 幸治	宇根クリニック
	大澤多美子	草津病院
	梶梅あい子	広島大学病院小児科
	河野 政樹	広島県立障害者療育支援センターわかば療育園
	坂本 美穂	広島市こども未来局こども・家庭支援課
	杉原 雄三	こどもクリニック八本松
	高橋 康太	おひさまこどもクリニック
	田邊 道子	たなべ小児科
	坪倉ひふみ	広島市こども療育センター
	堂面 政俊	堂面医院
	西村 浩二	広島県発達障害者支援センター
	林 優子	県立大学保健福祉学部附属診療所
	淵上 学	広島大学病院精神科
	町野 彰彦	呉医療センター・中国がんセンター
	湊崎 和範	広島西医療センター
	村上 誠二	広島県健康福祉局障害者支援課
	山崎 正数	広島県医師会
	淀川 良夫	子鹿医療療育センター
	渡邊 弘司	広島県医師会